

スポーツにおけるリーダーシップ

リーダー クリス・シェルトン
スピーカー ビルギッタ・ケルビン、 ローザ・ロベス
リコーダー 羽石 架苗

明らかになった問題点および論点

1. 女性スポーツ、社会、政治との関係
(計画的・戦略的に、政治とのつながりをもつ)
2. 若者や新しいリーダーたちのためのリーダーシッププログラム
(研修、ロールモデル、ネットワーキング、大学の学位など)
ニーズに応じたリーダーシップの育成 (地域から国際レベル、若者から高齢者)
3. 女性同士がどのようにしてお互いにリーダーシップをサポートしていけるか。
(女性のためのより良い環境作り)
4. どのようにして権力を得ること (エンパワメント) ができるか?
どのようにして女性が自信を持ち続けることができるか?

実際の活動/コミットメントへの提言 (実施者、内容、時期、方法について)

1. IWG会議においてリーダーシップトレーニングの場を設ける。(会議前に資格認定研修を行うなど)
2. 女性の地位やリーダーシップに関する研究やケーススタディーを奨励する。
3. 女性のスポーツにおけるリーダーシップの機会を増加するように、国連に働きかける。
4. 各国競技団体における女性のリーダーシップとポジションについてのリサーチを継続的に行う。
5. 国内外におけるリーダーシップネットワークづくり及びその継続のための教育プログラムを開発する。
6. 各国競技団体や教育機関が、女性リーダーたちのリーダーシップ研修、コースワーク、会議参加、研究を援助するための資源 (資金や施設) や情報を提供する。
7. 国内外のスポーツ機関が、モデルとなるリーダーやリーダーシッププログラムを認知し、表彰する。